

R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2010 - 2011 年度 R 会長 レイ・クリンギンスミス

2010---2011 年度 魚津 R.C 会長 宮本 汎



第 2751 回 例会報告

2010年 10月 29日

ゲストならびにビジター紹介 ビジター：魚津西 RC 長田達明 様

誕生祝 10月30日 中島久義君 明日で66才になります。年々、体力 筋力 精力がなくなってきました。何にでも「欲」はありますが、「力」がなくなっており困ったものです。それに負けずに頑張っていきたいと思えます。どうもありがとうございました。



会長挨拶



最近「熊」が大暴れしています。RCでも環境保全のために松倉 桃山の奥にドングリを植えましたが今年は実がなりません。この次は柿ノ木と栗ノ木を植えようかと思っています。残念ながら片貝川上流は杉の木がいっぱいあるので、ドングリなどのゾーンをつくる場合は、杉の木を15本程切らなければなりません。かなりの木を伐採しないとだめですが、これからそれに取り組みたいと思えます。

みなさん「黒鉱」(黒い鉱山)というのを知っていますか？昭和の最盛期には秋田・山形に亜鉛 銅 銀・スズなどが採れる「黒鉱」がありました。それらからレアメタルが取れましたが、今は廃鉱になっています。日本には海底を掘削する「地球号」という船がいます。深さ7500メートルまで掘ることができる世界一の掘削船です。地球号は沖縄の伊平屋島の沖に「黒鉱」の溜まりを発見しました。数千年前に出来たもので海底火山からボコボコ上がっている硫化水素のガスの中に亜鉛 銅 銀・スズなどが含まれています。それらを開発するためには10年くらいかかります。

日本は国土面積では世界の60数番目ですが、排他的経済水域では6番目になります。その中には限らない資源が隠れていますので、それを開発していけば日本には「輝かしい未来」があるとされています。

幹事報告

先週の10月23日にインターアクトの地区協議会があり、魚津工業高校の協議会の開催年度が平成25年6月に決定しました。

11月例会案内 11月5日 野外例会「魚津市美術展覧会」
(新川文化ホール)



11月12日 卓話 辻(英)君・根岸君 (ホテルサンルート)
 11月19日 ゲスト卓話 (ホテルサンルート)
 新幹線開通後の在来線のJRの問題、魚津の街づくりについて、
 魚津市の商工観光課から来ていただき、お話しをする予定です。
 11月26日 卓話 武隈君 (ホテルサンルート)
 11月SAA補助 大島君、坪井君、山澤君 よろしくお願ひいたします。

出席報告 本日の出席者 31名 出席率 91.17% 欠席者 3名
 メークアップ済み 谷君、吉森さん、松田君
 2749回メークアップ なし
 2749回修正出席率 88.23% 88.23%

ニコニコボックス 大城君 11月2日に「魚津市表彰」ひとえにみなさまのおかげです。
 心より感謝申し上げます。
 大村君 10月24日、近くの山仲間たちと魚津市南端の毛勝山へ往復11時間かけて登ってきました。天候にも恵まれ視界は360度、遠く能登まで見えて感動でした。
 宮本会長 寒さも厳しくなりました。インフルエンザの予防接種をお忘れなく。

委員会報告 **ロータリー情報委員会 清水委員長**
 概ね3年未満の会員の方を対象に「勉強会」を開催することになりました。3年未満の方9名？とR情報委員会の方、そして講師に杉野さんを予定しています。11/5の18:30から万両にて行います。



本日の卓話 「ロータリー財団月間卓話」 大城道雄 君



ポール・ハリス・フェローがロータリー財団への寄付について、一生懸命腐心されていました。ガバナーもそのことを強調されていました。今は円高で非常にいい機会ではないかと思ひます。現会員で12名が積み立てていますが、この数をもっと大勢の会員に実施していただくよう心からお願ひ申し上げます。

まず、活動計画書のP20・21に目を通していただくのが一番です。「ロータリー財団委員会の手引き」や「分かりやすいロータリー」の47ページにほんとうに分かり易く書いてありますし、また「手続き要覧」の125ページからにも書いてあります。今日の話しの主旨は以下のとおりです。

1.ロータリー財団が今変わろうとしていて、2007年規定審議会で国際ロータリー理事会から、ロータリー財団の使命・標語・優先事項に関する決議が提出され、採択された。

使命：ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすること。

標語：世界でよいことをしよう(Doing good in the world)

優先事項：すべてのプログラムと運営を簡素化すること。

・プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする。

地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること。

・プログラムの目標達成のための十分な資金と人材を提供すること。

・未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること。

2.未来の夢計画に基づいて

平和と紛争予防 疾病予防と治療 水と衛生設備 母子の健康
基本的教育と識字率向上 ? 経済と地域社会の発展

この六つの重点事項に寄付された資金を重点的に配分する。

この新制度は2013~2014年度からスタートするが、本年度より世界の中で100地区(日本では6地区)がパイロット地区に指定された。それまでの間2610地区は現行制度に基づき、年間5名程度の国際親善奨学生派遣と地区補助金としてのクラブの事業支援が主体となる。先行するパイロット地区の情報収集に努め、新制度移行に備えたい。

3.ポリオの2億ドルチャレンジについて

当初の1億ドルチャレンジ(1クラブ1年1000ドルの要請に対し、日本では地区の会員1人あたり2500円の寄付)は今年度が最終年度で、追加の1億ドルチャレンジについては人頭割負担の為替差益、地区大会の余剰金、地区財団活動資金(DDF)を活用し、当地区では更なる人頭割負担を求めないことに決定。(残念ながらポリオ撲滅は何度もチャレンジし、未達成の状況で、完全なる撲滅は不可能かもしれないが、ここで断念すれば再び蔓延の可能性もあり、会員のみなさまのご理解を切にお願いいたします。)

以上